

海外から入国した若い世代の結核が増加傾向です

久留米市内でも海外から入国された若い世代の結核が増加傾向です。アジアの国々では日本以上に結核がまん延していることから、入国後の発病が懸念されます。

職場での結核の感染を予防するポイント

結核がまん延している国の出身者は、入国後に発病する可能性もあるため、より丁寧に健康管理を行うことが大切です。

① 症状があるときは、早めに受診するように勧めましょう

- ・咳、痰、発熱など風邪のような症状が2週間以上続くとき
- ・仕事を続けて休んだり、元気がない、顔色が悪い、痩せてきたときなど

② 年に1回は、職場の健康診断（胸部エックス線検査）を必ず受診させましょう

- ・雇入れ時の健診で異常がない場合でも、その後発病することもあります。
- ・異常が見つかった場合は、必ず医療機関への受診を勧めましょう。

※労働衛生法に基づき、事業者には健康診断の実施が義務づけられています。

問 保健所保健予防課

☎ 0942-30-9730 F 0942-30-9833 ✉ ho-yobou@city.kurume.lg.jp



STOP差別

結核の罹患者が発生した時は、文化や生活習慣の違いに配慮し、差別や偏見で患者の人権が損なわれないように従業員への周知をお願いします。

詳しくはこちら▼



お知らせ 10月1日 国勢調査はじまります

従業員の皆様への周知をお願いします

令和7年10月1日を基準日として「令和7年国勢調査」を実施します。国勢調査は、日本に住む全ての人を対象とする日本で最も重要な統計調査です。調査結果は、さまざまな行政施策や研究機関の基礎データのほか、民間企業のマーケティング等に活用されます。調査への回答に協力をお願いします。

調査の流れ

国勢調査は住民票と関係なく、10月1日時点で住んでいるところで回答します。9月下旬から調査員が各世帯を訪問し、調査書類を配布します。書類を受け取ったら、インターネットで回答するか、紙の調査票を郵送または調査員に提出する方法で回答してください。

問 総務部 総務課 ☎ 0942-30-9053 F 0942-30-9706

✉ toukei@city.kurume.lg.jp

インターネット回答がおすすめ

便利で簡単なインターネット回答がおすすめです。パソコンやスマートフォンから回答でき、所要時間は5分から10分です。直接総務省へ回答が送られるので、プライバシーも守られます。

外国人も対象

国勢調査は、日本に住む外国人も対象です。外国人を雇用している企業・事業主は、従業員へ国勢調査の趣旨を説明し、回答促進への協力をお願いします。国勢調査のコールセンターやインターネット回答システムは、日本語以外にも対応しています。

国勢調査を円滑かつ
確実に実施するため、
企業・事業主の皆さんの
理解と協力をお願いします。



詳しくはこちら▼

